特集「第13回杵築市地域医療フォーラム」開催

みちょくれ

発行：杵築市立山香病院

令和6年3月16日に第13回杵築市地域医療フォーラムを開催しました。5年ぶりに皆様を会場にお招きし、対面重視のハイブリッド形式で行うことができました。オンライン配信も行いましたが、何よりも対面のワクワク感が久しぶりに戻ってきました。今年のテーマは〝私たちはどんなまちに住み続けたいか～健康でつなぐ住み良い未来のまちづくり～〟と言う新たな課題に挑戦することにしました。〝住む〟をテーマとして地域医療の意味を再確認する思いが含まれています。今回のテーマのきっかけは、病院の無料通院支援を拡大する中で、ロイヤルシティ別府湾杵築リゾート（梶ケ浜区）に到達し情報を得たことから始まりました。居住型別荘地で30年の時を経て住民が高齢化し健康問題が顕在化してきたことを知りました。また、人口減の時代に企業も変革し、梶ケ浜区の開発を進めてきた住宅メーカーの大和ハウス工業株式会社（以下、大和ハウス）も新たな時代に向けて方向転換が始まったと聞きました。医療人である私たちにも何かできるのではと直感しました。昨年から健康出前講座などを市行政とともに〝健康のまちづくりプロジェクト〟として梶ケ浜区で実施し、病院でも今回のフォーラムで取り上げてみたいとの声が高まりました。

基調講演として、大和ハウスの原納浩二常務執行役員からは、住宅メーカーの新たな方向性、リブネスタウンプロジェクトの取り組みについて紹介いただきました。〝まちの再耕〟という考えを示され、人口減少社会での住宅メーカーの再耕と言う新たな立ち位置について丁寧にご説明いただきました。

取り組み報告として、大和ハウスの山中則雄森林住宅管理運営部長からは、梶ケ浜区の歴史的背景から現状までをお示しいただきました。〝杵築シェアサロン〟〝暮らす森テラス〟など住民参加の事業についてご紹介いただきました。梶ケ浜区の住人で保健師の川口洋子さんからは〝杵築に移住して、住み続けるために感じたこと〟と題して、自身の経験に基づく梶ケ浜区を紹介いただき、在住の保健師として日々の活動をお話しいただきました。先進地報告として、臼杵市役所地域力創生課の石井義恭課長代理から〝臼杵における未来のカタチ〟と題して、臼杵市の移住推進の先進事例を紹介いただき、移住に地域医療が関与できる可能性についてお示しいただきました。杵築市協働のまちづくり課の阿部正純課長からは〝杵築市「移住・定住促進事業」の取組み、『住みたい』『住みつづけたい』と思えるまちづくり〟と題して発表いただきました。人口減少を食い止める杵築市の取り組みを我々も再確認できました。

パネルディスカッションの導入報告として、元中国新聞の記者でライターの田中謙太郎さんに「移住とまちの文脈―広島・島根から―」と題して、尾道市、雲南市の事例を記者、研究者の目線で紹介いただきました。移住に関しても地域の特性に合ったアプローチの重要性が強調されました。その後の討論で、田中さんの共著から引用した、火（牽引者・意思決定者）―土（実践者・住民）―水（潤滑油・行政ほか）―風（旅人・新しい視点）の4つのリーダーシップの軸を中心に議論を展開しました。テーマの〝住み良いまちの未来のまちづくり〟の実像には遠く届きませんでしたが、今回のフォーラムで学んだことは、梶ケ浜区だけでなく杵築市全体の〝住み続けたい〟に応用できる可能性を感じました。最後に永松杵築市長に議論を総括いただき、杵築市の今後の展望をお示しいただきました。昨年のフォーラムで議論した通院支援から得た内容から、医療MaaS(Mobility as a Service)が一年で予算化され、実現の方向性が固まったことを例にあげられ、今回の議論からも来年度の市のまちづくりに反映できると期待感を込めてお話しいただきました。杵築市の一番の〝火〟である市長の言葉に皆が今回の議論が有意義であり、さらなる可能性を感じて幕を閉じることができました。

院長　小野 隆司

職員募集

《一般職非常勤職員》●看護師　●介護員　●看護補助者　●調理員　●医師事務作業補助者

詳しくは右記までお問い合わせください。　杵築市立山香病院 事務 宇都宮 TEL：0977-75-1234

《外来医師診察日》（2024年4月1日現在）

		月	火	水	木	金
総合診療科 ※1	午前	院長 小野 隆司 **後藤 悠希**	**佐藤 大貴**	院長 小野 隆司 **佐藤 大貴**	院長 小野 隆司	**佐藤 大貴**
各種外来	午前	肝臓外来 名誉院長 坂本 啓二 糖尿病外来 岡本 光弘 （大分大学） 膠原病外来 首藤 航太 （大分大学）	呼吸器外来 宮﨑 英士 （大分大学） （第４週） 循環器外来 古城 顕央 （大分大学）	循環器外来 副院長 上運天 均 脳神経外科外来 内田 晋 （サンライズ酒井） **糖尿病外来** **矢野 恵司** **（大分大学）** 呼吸器外来 石井 稔浩 （大分大学） （第２週） **腎臓内科外来** **（大分大学）**	循環器外来 山下 昇 消化器内科外来 佐藤 孝生 （大分三愛ＭＣ）	糖尿病外来 佐田 健太朗 （大分大学） 循環器外来 佐藤 弘樹 （大分大学）
内科	午前	副院長 上運天 均 **三毛門 和彦**	山下 昇 **吉田 大史**	**井上 迪子**	副院長 上運天 均	山下 昇 **三毛門 和彦**
外科胃腸科	午前	休診 予約診療のみ 10 時まで受付	副院長 石尾 哲也	**渡邉 淳平**	副院長 石尾 哲也	副院長 石尾 哲也
小児科 ※2	午前 受付 11 時まで	半田 陽祐	半田 陽祐	半田 陽祐	半田 陽祐	半田 陽祐
	午後 15 時～16 時半	半田 陽祐		半田 陽祐 （第３水曜アレルギー外来 【完全予約制】）		半田 陽祐
整形外科	午前			日野 瑛太（大分大学） 受付時間９時～11 時	**脊椎外来** 九大別府病院 受付時間９時～11 時	赤瀬 広弥（大分大学） 受付時間９時～11 時
	午後			日野 瑛太（大分大学） 受付時間 14 時～15 時	**大分大学** **受付時間 14 時～15 時**	赤瀬 広弥（大分大学） 受付時間 14 時～15 時
泌尿器科	午前	藤井 猛	藤井 猛	藤井 猛	藤井 猛	藤井 猛
耳鼻咽喉科	午前	大分大学			大分大学	
皮膚科	午前		大分大学			
眼科	午前		大分大学		大分大学	
小児アレルギー外来《完全予約制》	午後	半田陽祐　毎月第３水曜日、受付時間：14 時～16 時 小児アレルギー外来は、①かかりつけの先生の紹介状がある患者様、②当院の一般外来から受診を勧められた患者様、③予約患者様のみの診察となります。①～③以外の方の診察はできませんので、アレルギー外来の受診歴がない患者様は、かかりつけの先生に紹介状をいただくか、当院の一般外来にご相談ください。				
神経内科《完全予約制》	午前	**中道 淳仁（大分大学）原則第１土曜日、９時～12 時** **竹内 陽介（大分大学）原則第２・４土曜日、９時～12 時** **※神経内科は完全予約制です。**予約は平日 14 時～17 時まで受け付けます（〆切は前日 16 時です）。予約状況により、日程調整をお願いする場合もございます。				
嚥下外来	午前	水曜日　10 時～12 時、**※完全予約制**（予約は地域連携室から行えます）				
土曜内科	午前	**原則第２・４土曜日、８時 30 分～12 時 30 分 ※予約外の方の受付は 11 時まで**				
土曜整形	午後	**原則第２・４土曜日、14 時～17 時 ※予約外の方の受付は 16 時まで**				

●午前中の初診受付は 11 時までになります。●医師の都合により急きょ休診になる場合があります。

※1 総合診療科は内科窓口となります。総合診療科は内科・外科・整形外科をおもに診療いたします。

※2 小児科の休日診察をしております(9 時～12 時、14 時～16 時半)。**4 月は 7 日(日)、14 日(日)、28 日(日)、29 日(祝)です。**

杵築市立山香病院
〒879-1307　大分県杵築市山香町大字野原 1612 番地 1
Tel:0977-75-1234（病院代表）、Fax:0977-75-0873
ホームページアドレス：http://www.yamaga-hp.jp